

授業科目 小児看護学概論	専任教員名	単位数 1	時間数 30	履修年次・前 / 後 1年次/後期
講義のねらい	1 小児各期の特徴を身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな側面から捉え、対象を理解する。 2 小児の健康保持・増進・疾病予防などの対策と家族を含めた小児各期に適した生活と養護の必要性を理解する。			
授業形態	講義・演習			
講義内容	1 小児看護の概念・対象と小児医療・看護の変遷 1) 小児看護の対象 2) 小児医療・小児看護の変遷 (1) 小児医療の変遷 (2) 小児看護の変遷 (3) 小児看護の現状 (4) 諸統計からみた小児と家族の健康課題 2 子どもの人権と看護 権利擁護、インフォームドアセント 3 小児看護の課題 1) 医療現場で起こりやすい問題と看護 2) 小児看護の課題 4 小児の成長と発達 1) 成長・発達の概念と原則 2) 成長発達に影響する因子 3) 形態的・機能的・精神的発達 4) 心理・社会的発達 5) 発育発達の評価 5 小児の健康増進のための生活の援助 1) 乳児(新生児を含む)の健康増進と家族への看護 2) 幼児の健康増進と家族への看護 3) 学童の健康増進と家族への看護 健康増進と家族への看護 4) 思春期の生活と子どもの健康増進とアイデンティティの確立、家族の看護 6 小児と家族のアセスメント 1) 子どもにとって家族とは 7 小児保健医療福祉の動向 1) 小児をめぐる法律と政策、児童福祉 2) 母子保健と子育て支援、医療費の支援 3) 予防接種 4) 学校保健、特別支援教育、食育 5) 臓器移植法 8 現代社会における小児の健康問題			
教科書	系統看護学講座 専門分野 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学① (医学書院)			
参考文献	1 国民衛生の動向 (厚生労働統計協会) 1 母子健康手帳 (日本家族計画協会)			
評価方法	終講試験 100点			
備考欄	解剖生理学、心理学、社会・家族論、基礎看護学方法論Ⅰは受講していること。 教員とのコンタクトは授業終了後又は終講時に案内する。			